

問 須和間踏切の 歩道設置進捗状況は

答 実現に向け関係機関と取り組む



新政とうかい
笹嶋 士郎 議員

問 この村道0202号線須和間踏切は、幻の都市計画道路の踏切であって、動燃線や原電線のように完成し、住民が安全に通行できる道路になっていたはずが、常陸那珂港からの北線にすり替えられてしまったため取り残された。今回、実現に向け協議を進めているとのことだが進捗状況は。

答 平成29年1月27日、安全を特に確保する必要がある踏切として指定を行った東日本旅客鉄道株式会社と協議を進めている。

問 関係機関と協議していることは分かったが、どうしても進み具合が遅いと思う。エリア内の箇所が一番最初に実施されるよう関係機関への働きかけを強力に押し進め、また予算をつけてもらいたい。

答 繰り返しになるが、須和間踏切の安全対策実現に向けて、関係機関と連携しながら取り組んでいく。



危険な須和間踏切
早期の歩道設置を

る。「関東地区踏切調整会議茨城県分科会担当者会議」の中で、一定エリアの複数の踏切をまとめて効果的に進めていくことになった。早期に実現できるように関係機関と連携していく。

問 広報とうかい 財政情報の在り方は

答 関心が持てる情報の提供に努める



みすずの会
清宮 寿子 議員

問 財政力指数は実体を表すものではない。住民に分りやすい説明を。

答 標準的な行政運営に必要な経費を自主財源でどれだけ賄えるかを示す数値。

問 交付税は自治体の財政力格差を解消し、行政サービスのナショナルミニマムを保障する重要な財源であるが、国は交付税総額を抑えるため、財政力指数が高くなるよう調整してきた。そのため実際の財政力とかけ離れている。今後村税の減収や公共施設の維持管理費、

問 財政力指数は実体を表すものではない。住民に分りやすい説明を。

答 標準的な行政運営に必要な経費を自主財源でどれだけ賄えるかを示す数値。

問 交付税は自治体の財政力格差を解消し、行政サービスのナショナルミニマムを保障する重要な財源であるが、国は交付税総額を抑えるため、財政力指数が高くなるよう調整してきた。そのため実際の財政力とかけ離れている。今後村税の減収や公共施設の維持管理費、

問 村は長年財政力指数が高く余裕のある財政と認識している住民は相当数いるが、実際は厳しい財政運営であることを住民に伝え、理解と協力を得ることが重要。住民へ財政の厳しい状況をもっと広報すべき。

答 住民が関心と理解が持てるよう情報提供に努める。

問 村税の減収は続く見込み。中長期を見据え、事業適正化やコスト意識を強化し、村民生活向上につながる財政運営に努める。

答 村税の減収は続く見込み。中長期を見据え、事業適正化やコスト意識を強化し、村民生活向上につながる財政運営に努める。



わかりやすく身近に感じる財政情報を
(広報とうかい 平成29年11月10日号より)